

経営比較分析表

山形県 米沢市

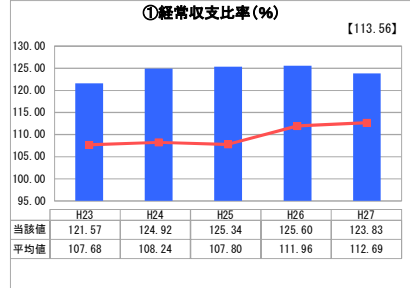
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	85.05	97.75	3,445

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
83,867	548.51	152.90
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
81,307	90.13	902.11

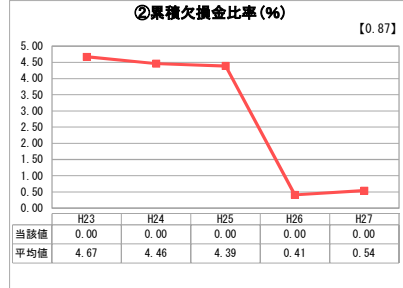
グラフ凡例

- 当該団体の値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成27年度全国平均

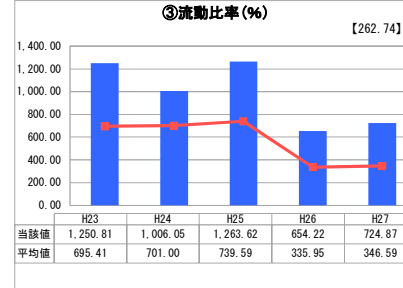
1. 経営の健全性・効率性



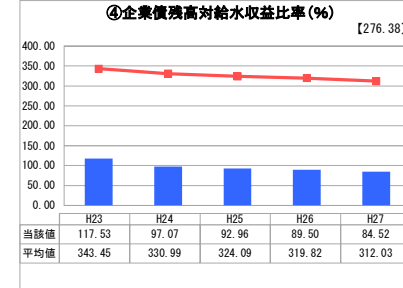
「経常損益」



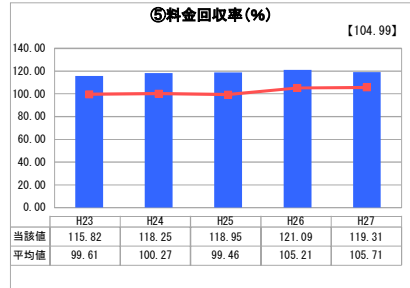
「累積欠損」



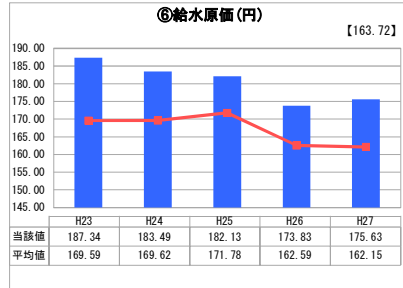
「支払能力」



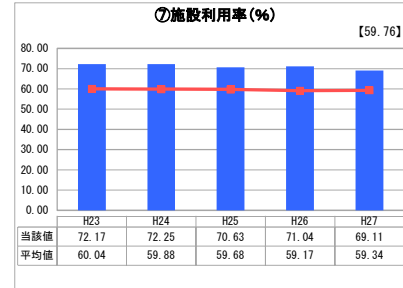
「債務残高」



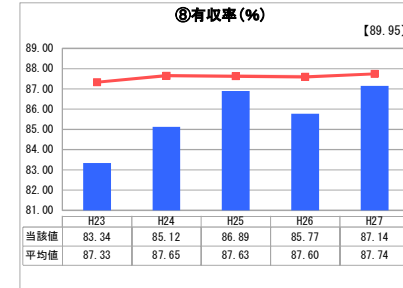
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

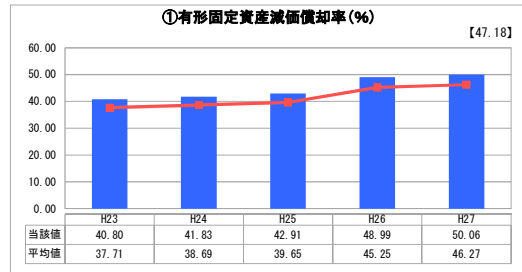


「施設の効率性」

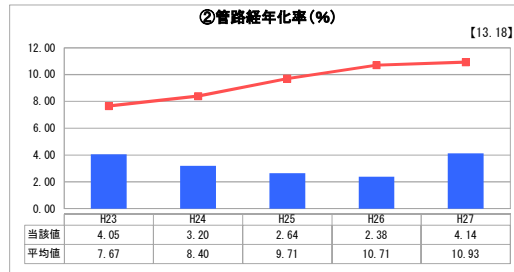


「供給した配水量の効率性」

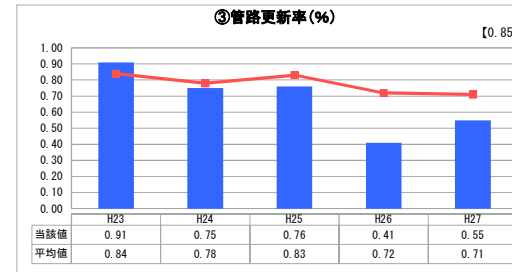
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率: 類似団体平均値と比較して高水準で推移している。
- ② 累積欠損比率: 累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率: 平成26年度は同年度の公営企業会計制度改正の影響により落ち込み、その後安定して推移している。
- ④ 企業債残高対給水収益比率: 類似団体平均値と比較して低い比率で推移しており、順調に企業債の償還が進んでいる。
- ⑤ 料金回収率: 高い水準を維持しているといえる。
- ⑥ 給水原価: 平成26年度は同年度の公営企業会計制度改正の影響により落ち込み、減少傾向にはあるが、依然として類似団体平均と比較して高い状況にある。
- ⑦ 施設利用率: 類似団体平均値と比較して高水準だが、給水水量の減少に伴い、減少傾向に推移している。
- ⑧ 有収率: 類似団体平均値よりも低い数値となっているが、老朽管更新工事や計画的な漏水調査の実施により増加している。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率: 類似団体平均値と同じ水準にあるが、老朽化した設備を着実に更新していく必要がある。
- ② 管路経年率: 類似団体と比較して低い数値にあるが、今後、第6次・第7次拡張事業で布設された管が、老朽化するに伴い、大幅に経年率が上昇する状況にある。
- ③ 管路更新率: 類似団体と比較して低い数値にある。これは収益が減少し、思うように予算が確保できないなどの理由があるが、アセットマネジメントの活用や管網計画の見直しによるダウンサイジング等により効果的な更新計画が必要である。

全体総括

近年の経営の健全性は保たれた状態が続いてきたが、今後は、人口減少傾向等による給水収益の減少、老朽管の更新と水道施設の維持及び更新に備え、より一層の経営基盤の強化に向けた対策が必要である。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。